PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-308843

(43) Date of publication of application: 13.12.1989

(51)Int.CI.

CO3C CO3C 3/102

CO3C

(21)Application number : 01-044890

(71)Applicant: OHARA INC

(22)Date of filing:

23.02.1989

(72)Inventor: SENOO TATSUYA

(30)Priority

Priority number: 63 45316

Priority date : 26.02.1988

Priority country: JP

(54) OPTICAL GLASS

(57)Abstract:

PURPOSE: To contrive remarkable improvement in life of a forming mold by containing metallic oxides at a specific blending ratio or fluorides obtained by substituting part or more of one or more components in the metallic oxides in the total amount of 0-5wt.% expressed in terms of F2.

CONSTITUTION: An optical glass obtained by containing 15-50wt.% SiO2, 30-58wt.% PbO, 0.1-7wt.% Li2O, 0-15wt.% Na2O, 0-15wt.% K2O, provided that the total amount of Li2O, Na2O and K2O is 3-25wt.%, 0-15wt.% La2O3, 0-10wt.% MgO, 0-10wt.% TiO2, provided that the total amount of La2O3, MgO and TiO2 is 0.1-20wt.%, 0-5wt.% ZrO2, 0-10wt.% Al2O3, provided that the total amount of ZrO2 and Al2O3 is 0.1-10wt.%, 0-20wt.% ZnO, 0-15wt.% B2O3, 0-5wt.% Y2O3, 0-5wt.% Gd2O3, 0-10wt.% CaO, 0-10wt.% SrO, 0-9wt.% BaO, 0-15wt.% Nb2O5, 0-5wt.% Ta2O5, 0-5wt.% WO3, 0-5wt.% P2O5, 0-1wt.% As2O3 and 0-5wt.% Sb2O3. Alternatively, a fluoride component prepared by substituting part or more of one or more metallic oxides thereof is contained in the total amount of 0-5wt.% expressed in terms of F2 to afford the optical glass.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

h

h

g

e e e

c

⑩日本国特許庁(JP) ⑪特許出願公開

◎ 公開特許公報(A) 平1-308843

@int.Cl.⁴		識別記号	庁内整理番号	多公開	平成1年(1989	9)12月13日
C 03 C	3/07 3/102 3/105 3/112 3/118		6570-4 G 6570-4 G 6570-4 G 6570-4 G 6570-4 G 審査講求	朱顏求	請求項の数 i	(全5頁)

❷発明の名称 光学ガラス

②特 願 平1-44890

@出 願 平1(1989)2月23日

❷昭63(1988) 2月26日❸日本(JP)劉特願 昭63-45316

倒発 明 奢

勿出 競 人 株 式 会 社 オ ハ ラ 神奈川県相模原市小山1丁目15番30号

	•
明 網 署	Z a O 0 ~ 2 0 %,
1.発明の名称 光学ガラス	$B_2 O_3 \qquad 9 \sim 15\%$.
2. 辨許額敦の範囲	Y 2 O 3 0 ~ 5 %.
低强%で.	G d g O 2 0 ~ 5 %.
\$102 15~50%.	C a O 0 ~ 1 0 %.
PbQ 30~58%.	srO 0~10%.
Li20 0.1~7%.	B a O 0 ~ 9 %.
Na2 O 0~15%.	N b 2 O 5 0 ~ 15%.
K2 O 0~15%.	T 22 O5 0~5%.
EMU, DI2 O+Nag O+K2 O	WO3 0~5%.
3~23%,	P ₂ O ₅ 0~5%.
L 42 O3 0~15%.	A 3 2 O 3 O ~ 1 %.
MeO 0~10%.	3 62 03 0~5%.
TiO2 9~10%,	および、上部各金属酸化物の1差または2種以上
ただし、しゅ2 O3 +M80+T102	の成分の一部または全部と置換した存化物度分の
0 . 1 ~ 2 0 %.	F2 としての合計数の~5%を含有することを特
2 r O ₂ 0 ~ 5 %,	撒とする光学ガラス。
At 2 O 3 0 ~ 1 9 %.	(以下会白)
£ K L . Z s C2 + A l 2 O 3	
0.1~10%,	

-261-

特爾平1-308843(2)

3、 祭明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、原訴率(nd)が約1.55~1.86、 アッペ数(rd)が約25~44の範囲の光学恒 数を有し、かつ歴鉄温度(At)が約450℃以下であって、精密プレス域形に選した光学ガラス に関する。

{従来の技術}

近年、プレス成形したガラスを、新鮮工程無し にレンズ、プリズム等の光学楽子として受用する、いわゆる精密プレスを依頼の研究開発がすすん でいる。この構窓プレスのためには、成形型がある。 でいる。この構窓プレスのためには、成形型が高 でいる。この構窓プレスのためには、成形型が高 程とさらされるこめ、型変面の酸化や組織の代 がおきやすく、型は急速に労化し、寿金が短く な リやすい、この問題の解決手段として、成形型の 材質や使用法に関する技術も知られているが、こ れらは経済的不利を伴ないやすいため、できる限 り成形温度を低く保つことが望ましい。そこで、 これに適合する個品成形性の光学ガラスが影響

究を重ねた結果、Si〇2 - アb〇 - L(2 〇 Aのガラスにおいて、La2 〇2 . Mg〇、TiO2 放分の1後または?循以上、およびて1〇2 とA12 ○3 の1種または2種を添加株子させることにより、原望の光学観察と化学的耐久性とを維持しつつ一段と低いAiを有するガラスが得られることをみいだし、木苑明をなすにいたった。

本発明にかかる光学ガラスの組成の物質は、特許請求の範囲に記載のとおり、重量%で、

S 1 0 2	15~50%.
PbO	30~58%,
Li ₂ O	0.1~7%.
Na ₂ O	0~15%.
K ₂ Q	0~15%.
ただし、Lig O+N	42 O+K2 O
ただし、Lig O+N	3~23%.
ただし、Lig O+N La2 Og	•
-	3~25%.

れている.

従来から、比較的低器水形性の光学ガラスとして、 S 1 O 2 - P b O - N n 2 O / K 2 O 系のいわゆるフリントタイプの類のガラスが知られているが、この系のガラスは上配要型からすれば、屈快点 (At) が全般に耐く不満足であった。そこで、この延程成形性を改善するため、様々の接定がなされており、例えば、特開昭82-87422号公復には、 S 1 O 2 - B 2 O 3 - T 1 O 2 / N b 2 O 5 / P 6 O ~ L 1 2 O 系のガラスが開示されているが、その改善効果は不十分である。

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記の実状にかんがみてなされたもので、その目的は、展新器(ad)約1.55~1.89、アッペ数(xd)約25~44の範囲の光学組数と化学的耐久性とも維持させつつ、低温成形性が改善され一級と精密プレスに直する光学ガラスを提供することにある。

【襟誑を解決するための手段】

本発明者は、上記目的を達成するため、試験研

ただし、La2 Q3 +MgO+TiO2

	• •
٥.	1~20%,
Z r O 2	G ~ 5 % .
A 1 2 O 3	0~10%.
ただし、2102 キAI	z O 3
٥.	1~10%.
ZaC	0~20%.
B 2 O 3	0~15%.
Y 2 O 3	0 ~ 5 %.
G d 2 O 3	0~5%.
C 4 O	0~10%.
S r Q	0~10%.
B a O	0~8%.
N b 2 O 5	0~15%.
Ta2 Os	0~5%.
₩ O 3	0~5%.

および、上記各金属競化物の1種または2種以上

0~5%. 0~1%.

0~5%.

P2 05

A 32 03

SheOz

持開平1-308843(3)

の成分の一部または全部と監接した悪化物成分の F_2 としての合計量 $0\sim5$ %を含有させたところにある。

つがに、上述のとおり、各成分の組成額囲を限 定した理由について述べる。

S 1 02 成分は、ガラス形成成分としてはたらくが、その量が15%未綱であるとガラスの失適 傾向が増大し、50%を超えると、A t の止昇を まねくばかりでなく、ガラス溶解的に未溶解物を 生じ易くなる。

P b O 成分は、屈折率を高め、比較的低いる b を与えるのに有効であるが、その量が30%疾機であると A t の上昇をまねぎ、58%を超えると、化学的耐久性が劣化しやすくなる。

L12 O成分は、少貴の添加により、ガラスの 安定性を扱なうことなくAlを下げる効果のある 生要な成分であるが、0、1 労未満では、その効果が悪しくなく、7%を超えると、ガラスの失選 傾向が収入する。

Na₂ O、K₂ O成分は、ガラスの溶解性を要

欠ではないが、ガラスの対失液性、化学的耐久性 の改等、A t および光学複数の調整等の為に、必 後に応じ極加することができる。

Zn ○成分は、A とを下げる効果があり、化学 的耐久性を劣化させない範囲で20%まで抵加す ることができる。

B2 O3 成分は、溶解性の改善や、忌哲学の調整に有効であり、15%まで孤知できる。

S r O および B a O 核分は、安定性を向上させる効果があり、それぞれ10% および9%まで移知可能である。

P2 O5 取分は、A1電下げる物集があるが、 5%を超えると化学的耐久性が劣化する。

Ast Og は、ガラスの脱胞・精度剤として効

密すると共に、Aiを降下させる海屎があるが、 それぞれ、15%を超えると、ガラスの化学的樹 久性が劣化する。また、Li2O、NagOおよ びKgO低分の1視または2種以上の合計量が3 %未満では、頻望のAiが得難く、25%を超え ると、ガラスの安定性、化学的耐久性が劣化する。

本発明のガラスにおいて、化学的耐久性を維持しつつ、比較的多量のアルカリ金属酸化物酸分を 据入して一段と低い A t 値を得るためには、 L a 2 O 2、M 2 O 3 はびT 1 O 2 を添加 2 では2 を添加 2 では2 を添加 3 です。 となる 2 では2 を添加 3 です。 となる 3 です。 M 2 O 3 が、 これらの 成分のうち、 L a 2 O 2 、 M 2 O 3 が、 これらの 成分のうち、 L a 2 O 3 、 M 2 O 3 がよび 1 O 8 で またで 0、1 で 2 0 %の 総関とし、 またで 1 O 8 の 8 に それぞれ、 5 % だよび 1 0 8 まで、 合計でり、 1 で 4 に 1 0 8 の 能関とするのが 適当である。

さらに、下辺の成分は、本気明のガラスに不可

巣があるが、1%以下で平分である。

Sb2 O3 成分は、ガラスの商権、Aをの降下、光学道数の顕整に効果があり、5%まで締ねできる。

那書成分は、ガラスに低分散性を付与し、またガラスの低點性化を図るのに有効であるが、前記 F 2 としての合計量が5%を超えると、ガラスを 解験する際に、沸霧或分の揮発が多くなり、均費 なガラスを得難くなる。

[災施例]

次に、本発明にかかるSiO2 - PbO - LI2 O - Laz O3 / M g O / TiO2 - Z r O2 / Alt O3 系光学ガラスの資源な実施 級成詞 (No. 1 ~ No. 30) および胎配健康のガラスの比較組成例 (No. 1) を、これらのガラスの光学信数 (ad、rd) および屈伏点 (At). 仮移点 (Tg) とともに、表ー1に示す。

() () () () () () () ()

特閒平1-308843 (4)

					表	-	1							(母位 :	连接%)
	i	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Li I	12	13	14	15
SiQz	24.0	38.0	35.0	38-0	27.0	46.0	22.5	37.8	41.0	36.0	38.4	35.0	27.0	32.6	35.0
P50	40.0	43.0	59.0	35.18	45.6	37.0	60.6	33.8	35.0	40.0	42.0	40.0	42.0	42.0	49.9
Ligo	3.7	2.7	2.7	3.7	2.7	3.0	2.6	5.6	1.0	3.0	2.5	2. 7	3.0	2.0	2.6
NAPO	5.0	11.0	10.0	10.0	10.0	8.0	7.8	5.8	11.0	9.0	7.0	8.0	8.0	19.6	5.0
K ₂ O	5.0	3.0			3.0	4.6	4.0		7.0	3.6	3.0	3.0		3.0	7,0
Laz Os	t.0	2.0		2.0		4.0	2.9	2.0	2.0		3.5			3.0	
MgO	3.0		4.0	2.0				2.0		<u> </u>		3.0			3.0
TiO2					3.0		<u> </u>	}		2.0			2.0		
Z t O2		1.0	1.0		4.0		3.0	<u> </u>		2.0	3.0			2.0	2.0
Alz Os	1.0	0.1		1.0		4.0		3.0	1.0	<u> </u>	<u> </u>	2.0	1.0	2.0	
ZnO	7.0		8.0	19.0				4.0		ļ	ļ				
B2 O3								2.0			ļ				ļ
A se Os				<u> </u>					<u> </u>	i	!	L			
5 bz Os	0.3	0.3	0.3	0.3	9.3				<u> </u>	\		0.3	4.0		
その他					Кib ₂ 0 _В В.0		CaO 4.8	₩3 6.6	₹ ₂ 0 ₀ 2.0	\$c0 5.0	61 ₂ 0 ₃ 3.0	R₃PO4 5.0		7a20g 1.0	3a0 3.9
Li ₇ 0#820 +Kg0	13.7	16.7	12.7	13.7	15.7	15.0	14.6	!1.2	19.0	12.0	12.5	14.7	12.0	15.0	14.0
რ)‰გ0ე-Mgმ +1102	4.0	2.0	4.0	4.0	3.0	4.9	2.9	4.0	2.0	2.0	3.6	3.9	2.0	3.0	3.0
12)2102-41202	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	4.0	3.0	3.0	1.0	5.0	3.9	5.0	2.0	4.0	2.0
(i)+2)	5.0	4.0	5.8	5.0	7.9	8.♦	6.0	7.0	3.0	4.6	6.5	5.0	5.0	7.6	5.0
nd	1,652	1.629	1.846	1.965	1,758	1.833	1.786	1.650	1.821	1.667	1,681	1.639	1.670	1.67?	1.655
νd	36.1	34.5	35.1	35.6	39.3	37.0	25.9	37.0	36.9	93.7	33.0	35.5	33.0	32.8	34.8
T8	372	366	37C	388	874	350	252	330	374	382	371	381	384	386	384
At	414-	49\$	420	418	617	419	393	424	4!8	425	424	100	425	422	\$ 2 5

					霥	-	1	(マづま)							(學化 ;	198
	· 18	17	18	19	20	21	22	23	24	2\$	2€	27	28	29	39	τ
SiOz	25.0	12.0	42. Ú	30.0	28.0	29.0	33.0	30.G	40.0	39.4	29.0	20.7	20.0	15.6	15,9	25.6
PbC	49. D	41.0	44. 0	35.4	48.0	51.0	62.0	50.0	35.0	34.7	50.0	\$1.2	55.0	57.0	58.9	57.0
Liz C	2.0	2.0	2.0	3.0	3.6	4.0	3.0	1.0	4.0	2.5	4.0	4.4	3.5	4.0	5.9	ů.5
N 2 2 0	7.0	8.0	7.0	7.0	19.6	i0.0	10.0	10.0	10.0	11.1	11.0	1.4	3.5			2.3
K ₂ O	3.6	5.0	4.0	3.0	LO		4.0		5.0	\$.7						i9.3
Lag Co	3.9	6.5		7.0		2.0			1.0	1.3	2.)	1.6	1.0	8.5	e.5	
MgO			-		8.0			4.0	1-6		2.7	0.5	1.0			
Ϋ́ i O ₂	1.0		0.5				7.0									4.4
Z r O2		0.5		2.0	2.3	2.0			1.0	1.3		0.3		0.2	Ç.2	
A 12 Q3	2-0		0.5			1.0	1.0	1.0	1.6	1.6	1.0	0.4	0.6			
200	17.0								1.0			3.6	<u> </u>	4.0	1.0	4.2
B ₇ O ₃				ļ.—		9.7		0.7	0.7	0.7		11.8	11.5	15.0	14.0	3.8
A 52 08						0.3		0.3	6.3	0.3	0.3	 -		0.0	0.3	ļ
5 bz O3							L					9.8	3.0 (e)	C=0	Ca0	W. 6
その組				ში ₂ მგ 13.0	CaF 2 4.0 (F2*			:				CNO -0	1.6	4.0	5.0	ЖЬ ₂ Од 8.0 ВаО
			}		1.8)							3.6	ļ		L	2.9
+Kåo Fi≥o4je≥o	12.0	16.0	13.0	13.0	34.0	14.0	17.0	14.0	18.0	17.8	14.0	2.8	7.0	4.0	3.0	
D£0289+180 +7102	1.0	\$. 5	0.5	7.0	6.0	2.0	7,0	4.0	2.0	1.3	4.7	1.5	2.0	0.5	0_5	
@2102+A1283	2.6	0.5	9.5	2.0	2.0	3.0	1.0	3.0	2.0	2,3	1.0	0.7	0.5	0.2	Q. 2	<u> </u>
g)+gs	6.0	L.¢	1.0	9,0	8.0	5.0	8,0	5. 0	€. ឡ	3.6	5.7	2.2	2.5	Ç.7	0.7	
nd.	1.708	1.638	1.669	1.742	1.729	1.717	1.643	1.703	1.827	1.859	1.713	1.743	1.740	1,774	1.771	1.898
v d	26.5	36.0	35.0	30.2	28.4	28.3	35.8	28.4	87.Q	83.1	29.5	₹1.9	39.1	29.3	20.5	<u> </u>
Tg	351	965	358	352	394	34 i	372	330	344	\$37)31	238	383	392	412	428
Αŝ	408	3518	381	138	423	273	415	359	386	375			121	420	40	479

特閒平1-308843 (5)

2-1にかられるとおり、本発明の実施組成例のガラスは、房望の光学恒数を有し、しかもなし値が359℃~441℃と、従来のガラスに比べ、苦しく低くなっている。

また、本義明の実施組成例のガラスを用いて、 坊店プレス成形を行ない、光学業子を作成したと ころ、いずれも失通や表領の現化を生じることな く、すぐれた製品を得ることができた。

本義明の実施組成例のガラスは、いずれも、験化物、炭酸塩、硝酸塩および発化物等の原料を所定の酸化物組成が得られるよう適宜選択調合して、石英や白金製等の容優に投入し、これを約1809~1260℃で溶験し、十分な機体・精理を行った後、適当な陰度に下げて、容易から取り出すことにより、容易に製造することができる。

[発明の効果]

 断久性を維持しているうえ、改善された低量般が 性を楽し、しかも指常プレス時において失透や姿 頭の展化等がなく安定である。

従って、本発明のガラスは、城形型の内命を署 しく向上させることができ、また鋳密プレス成形 による製品を安定して生粛することができるの で、産家上まわめて有用である。

特許出願人 株式会社 オ ハ ラ